

耕作放棄地再生大賞！事業計画書



2012年1月

 **都市生活者の農力向上委員会**



農力向上委員会が目指すもの

都市生活者の農力向上委員会は、資源枯渇や気候変動、生態系の崩壊等で顕著に示されつつある成長の限界を直視し、迫りくる財政破綻の連鎖や食料危機に備えて、「経済成長に頼らない最小不幸社会」へのソフトランディングを目指すべく、国民ひとり一人が農作ベースの自給共生力を高めることを目標に掲げて「日本サバイバル農力向上大作戦！」の必要性を訴え、啓発促進するとともに、積極的な政策提言を実施します。





「平勤休農」のすすめ

塩見直樹さんの提唱する「半農半X」は、農的暮らしとして理想形といえますが、都会には「農」がなく、農山村には「X」がないので、現実に取り組むとなると、実はハードルが高かったりします。一方で、平日は働き、休日は農を楽しむ「平勤休農」なら、誰にでも気軽に取り組むことができるのでしょ

う。
農力向上委員会では、この「平勤休農」のムーブメントを「見える化」するため、「耕作放棄地再生大賞！」を思い立ちました。





なぜ「耕作放棄地の再生」を目指すのか？

都市生活者の農力向上委員会が
耕作放棄地の再生にこだわるのは、
そこに田舎の宝が埋もれているから。

たとえばそれは、
バカ者と常識人、ヨソ者と地元民、若者と老人を結ぶ絆。

だからこそ重機ではなく、
人力で丁寧に掘り起こす。

つまりは、「再生への道はない。再生が道なのだ。」

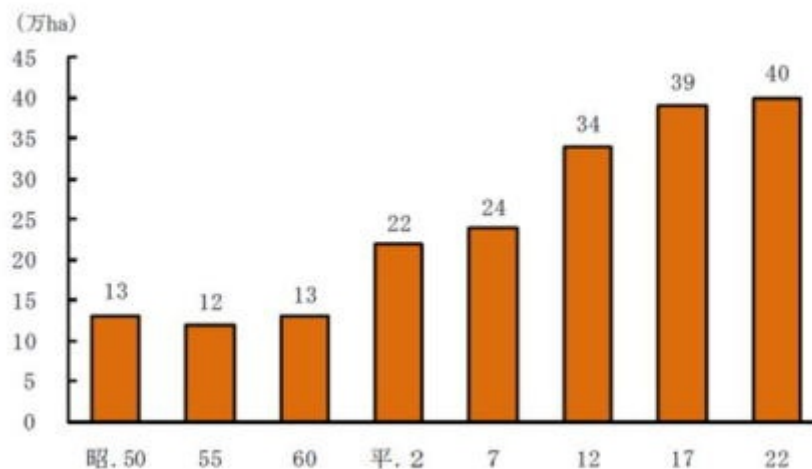


耕作放棄地の現状

農林水産統計によると、日本の農業就業人口は平成20年で298万人。このうち約半数の140万人を70歳以上の高齢者が占め、20年後を担う39歳以下は35万人

しかいない。山あいで細々と耕作していた農家が年をとって、出荷できなくなる。子どもは勤めに出て、農地は草だらけ。これが土地持ち非農家の放棄地の実態だ。かつて自給自足が当たり前だった日本は、食料に関しては消費者ばかりの国になってしまったのである。

耕作放棄地面積の推移（全国）





耕作放棄地再生大賞！運営委員会

* 主催：

- ・特定非営利活動法人 エコロジー・アーキスケープ
- ・一般社団法人 都市生活者の農力向上委員会

* 協力：

- ・特定非営利活動法 人えがおつなげて
- ・特定非営利活動法人 ビーグッドカフェ
- ・種まき大作戦実行委員会

* 運営委員長：

- ・糸長浩司氏（エコロジー・アーキスケープ代表理事）

* 運営事務局：

一般社団法人 都市生活者の農力向上委員会内



耕作放棄地再生大賞！概要

* 主旨:

「耕作放棄地再生を環境保全活動 & コミュニティ・デザインとして評価するキャンペーン」

* 段取り:

- 1) 耕作放棄地再生大賞！の運営委員会を確定させる。
- 2) 審査員を選定し、再生大賞！へのノミネート団体を募る。
- 3) 書類 & 面接審査等を実施し、ノミネート団体を決める。
- 4) CSR担当者 / 都市生活者向けに再生体験ツアーを開催する。
- 5) CSR担当者がツアーに参加した企業を中心に、協賛を募る。
- 6) 参画団体には、途中経過をブログで報告するよう義務付ける。
- 7) 審査委員は再生過程をコミュニティ・デザインとして評価する。
- 8) 表彰式では、各団体を好評価する賞で、再生活動を讃える。

< 審査員候補 >

- ・木内孝 氏 (株式会社イースクエア会長)
- ・高野孟 氏 (株式会社インサイダー代表取締役)
- ・山崎亮 氏 (株式会社studio-L 代表)
- ・古沢広祐 氏 (國學院大学教授)
- ・大和田順子 氏 (一般社団法人口ハスビジネスアライアンス代表)



地域密着型耕作放棄地再生大賞！

* 既に地域で活動している団体が対象

< 活動団体のノミネート候補 >

- ・大塚洋一郎 氏(農商工連携サポートセンター)
- ・白石真一 氏(株式会社千葉農産)
- ・林良樹 氏(農事組合法人 鴨川自然王国)
- ・竹本亮太郎 氏(キュアリンク檜原再生PJT)
- ・柳川 貴嗣 氏(東京で農業はじまめした。PJT)

< 東北復興枠ノミネート候補 >

- ・大和田順子 氏(蕪栗沼ふゆみずたんぼPJT)
- ・ハッタケンタロー 氏(麦まき大作戦PJT)
- ・中辻一真 氏(塩トマト/塩キャベツPJT)



一社一村型耕作放棄地再生コンペ

* 企業と地域のマッチングで始動するプロジェクト

< 再生団体を公募する地域現場候補 >

- ・佐藤洋 氏(山梨県都留市観光振興課)
- ・古屋富雄 氏(神奈川県南足柄市農業委員会事務局)
- ・諸田三比呂 氏(株式会社あたらしい村)
- ・木全敏夫 氏(株式会社野田自然共生ファーム)
- ・豊田有希 氏(一般社団法人風土人)
- ・間谷隆 氏(株式会社うなかみの大地)

...

* ツアー協力候補

- ・有限会社リボーン < エコツーリズム・ネットワーク >



再生大賞！表彰式(2013年新春)

* 日本財団ビル2階大会議室で開催調整中





耕作放棄地再生農産物ブランド化事業

* 再生耕作放棄地の農産物をブランド化(案)

< 東北復興 >

- ・塩トマト / 塩キャベツ(塩害畑の再生)
- ・石巻復興地ビール(避難所生活者オリジナル)
- ・ふゆみずたんぼ復興米(塩害田の再生)

< 過疎地域復興 >

- ・雑穀の里さいはら蕎麦(1ターン移住型村おこし)
- ・檜原村ど根性野菜(企業参入型村おこし)

.....



耕作放棄地再生委員会関係図(案)

